

# 上野幌・青葉地域

## 小規模校検討委員会ニュース

上野幌・青葉地域小規模校検討委員会では、上野幌・青葉地域4小学校の学校規模の適正化を進めるうえでの諸課題について検討しております。この「検討委員会ニュース」では、随時、検討状況を保護者や地域住民の皆様にお知らせしております。

2016.9.12 第12号

発行：上野幌・青葉地域小規模校検討委員会

### 第12回検討委員会 について

8月29日(月)午後1時から、上野幌西小学校で第12回の検討委員会を開催しました。

まず事務局から、個別に寄せられた意見の報告がありました。その後、統合後に活用する校舎と今後の検討体制について話し合いを行いました。

### 個別に寄せられた 意見(報告)

第11回検討委員会以降、メールで2件、手紙で1件の計3件のご意見が事務局に寄せられており、その報告がありました。

- 青葉町1丁目・2丁目の児童が通学する小学校に関して検討をすることはできないのか。

(事務局回答)

上記にお住まいで共栄小学校に通学している児童を青葉小学校に通わせたとしても、将来において安定的に児童数を確保することはできないため、今回検討対象となっている4校の校区の範囲内で適正化を図ることが第2回の検討委員会で確認されております。

(平成28年7月 メール)

- 活用されない校舎について、避難場所としての機能が残るのかどうか等の跡活用の議論については行われぬのか。

(事務局回答)

活用されない校舎の跡活用については、検討委員会の中で地域の皆様のご要望等を伺い、札幌市の関係部局と調整を図りながら検討を進め、検討状況については、ニュース等でお知らせいたします。

(平成28年8月 メール)

- 国道の北側の区域については、上野幌・青葉地域を一つの地域として教育環境の充実、通学安全を最優先に考えて検討を進めてほしい。
- 放課後児童クラブについて、学校統合による児童数の増加で問題が生じないように検討してほしい。

(平成28年8月 手紙)

# 検討事項

事務局から下記の検討事項について説明および提案があり、各事項について協議を行いました。

## ■統合後に活用する校舎について（国道 274 号を境とした組合せ）

### ○国道 274 号の南側（上野幌西小学校と上野幌東小学校）



#### ●統合時に必要な教室数

普通教室	16室	現状で想定される最大学級数
特別支援学習室	2室	知的1、情緒1
メモリアルルーム	1室	両校のメモリアルスペース
<b>最大必要教室数</b>	<b>19室</b>	上記各教室の合計

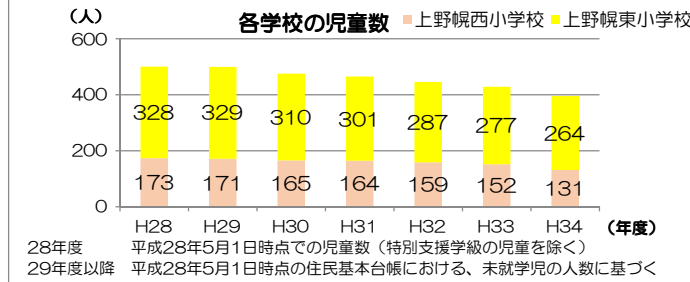
#### ●各校舎の使用可能教室数

	上野幌西小学校	上野幌東小学校
普通教室	6室	12室
特別支援学習室	1室	2室
余裕教室等 （比較的容易に普通教室に改修可能な教室）	9室	11室
<b>使用可能教室数</b>	<b>16室</b>	<b>25室</b>

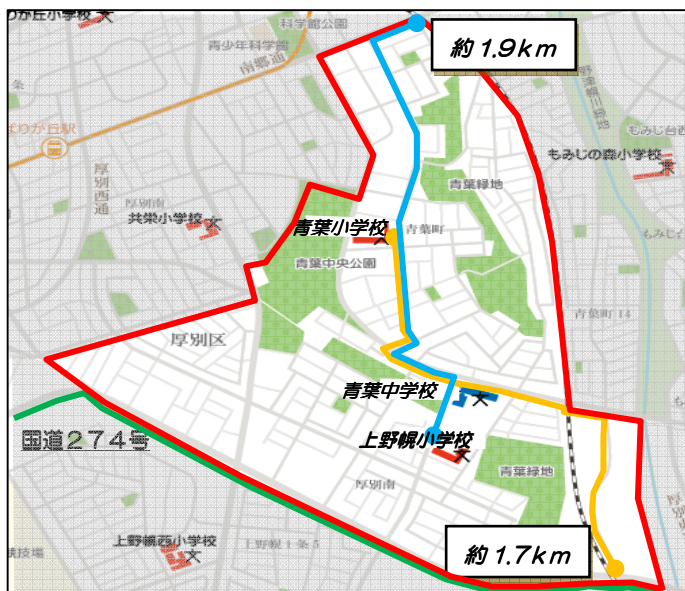
※上野幌西小学校は統合年度によっては増築が必要となる。

#### ●施設の状況

	上野幌西小学校	上野幌東小学校
校舎	築28年（昭和63年築） 5,002㎡	築25年（平成3年築） 6,755㎡
屋内運動場	築28年（昭和63年築） 1,293㎡	築25年（平成3年築） 1,502㎡
敷地	19,116㎡	16,388㎡



### ○国道 274 号の北側（上野幌小学校と青葉小学校）



#### ●統合時に必要な教室数

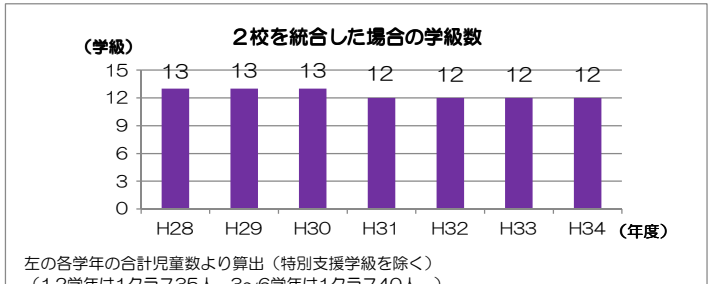
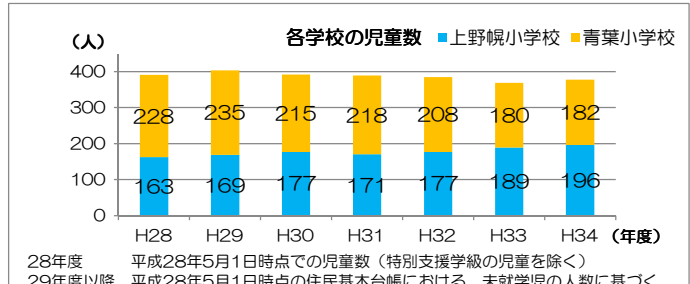
普通教室	13室	現状で想定される最大学級数
特別支援学習室	2室	知的1、情緒1
メモリアルルーム	1室	両校のメモリアルスペース
<b>最大必要教室数</b>	<b>16室</b>	上記各教室の合計

#### ●各校舎の使用可能教室数

	上野幌小学校	青葉小学校
普通教室	6室	9室
特別支援学習室	2室	2室
余裕教室等 （比較的容易に普通教室に改修可能な教室）	8室	5室
<b>使用可能教室数</b>	<b>16室</b>	<b>16室</b>

#### ●施設の状況

	上野幌小学校	青葉小学校
校舎	築38年（昭和53年築） 4,667㎡	築48年（昭和43年築） 5,713㎡
屋内運動場	築38年（昭和53年築） 1,015㎡	築47年（昭和44年築） 1,018㎡
敷地	16,025㎡	12,273㎡



## ■今後の検討体制について（事務局からの提案）

- 国道 274 号を境に「北側部会」と「南側部会」に分けて検討を行う
- 各部会は地域（町内会連合会・自治連合会）の関係者や各校 P T A、校長、有識者で構成する。検討項目によって必要な方を追加することも可能とする
- 部会の代表は、現在の検討委員会の代表委員が担う
- 必要に応じて、全体の検討委員会を開催する

## 委員からの意見

各委員から主に以下のようなご意見がありました。

### ■統合後に活用する校舎について（上野幌西小学校と上野幌東小学校）

- 両校の児童数をみると、上野幌東小学校の校舎を活用することが妥当ではないか。
- 校舎の大きさなどの施設の状況を比較してみても上野幌東小学校を活用の方がベターではないか。
- 児童数が少ないことを不安に思っている保護者が多く、一年でも早く統合するためには、教室数に余裕があり増築の必要がない上野幌東小学校の校舎を活用の方がいいのではないか。
- 児童にとって最も重要なことは安全に通学できることであり、全員が徒歩通学の範囲内（2 km以内）になる上野幌東小学校を活用の方がいいのではないか。
- 総合的に判断して上野幌東小学校を活用することに異論はない。今後は、児童会館や体育振興会のことなどの課題の検討を進めるべきではないか。

### ■統合後に活用する校舎について（上野幌小学校と青葉小学校）

- 上野幌小学校のすぐ隣に青葉中学校があり、将来もし小中一貫校を建てるのが可能になれば、上野幌小学校を活用するメリットがあると言えるのではないか。
- 青葉小学校を活用した場合の児童の最長通学距離が若干短いということ以外では両校の状況が類似しており、この検討委員会で結論を出すことはなかなか難しいのではないか。
- 両校の施設等の状況が類似しており、より詳細に比較検討をすることができる資料等を提示してもらいたい。統合後 P T A は一緒になるので検討の中で対立することは避けたいと思っている。

■今後の検討体制について（部会の設置）

- 校区が決まった状況では、それぞれの区域に分かれて検討することは妥当なのではないか。
- 例えば、校舎の跡活用の検討をする際などには、まちづくりに関わりのある地域の人に参加してもらった方がいいのではないか。
- 北側の部会を建設的な議論の場とするために、より客観的に比較検討ができるようにしていただかないと、感情論が先走ってしまい、部会に分ける意味がなくなってしまうと思うので、事務局はその点について配慮してほしい。

決定事項

第12回の検討委員会では、以下のことを決定しました。

国道274号より南側の組合せで統合後に活用する校舎は、「上野幌東小学校」とする



- 施設の状況（大きさ、築年数）
- 使用可能教室数の多さ
- 通学距離が全員2km以内（徒歩通学範囲内）

今後は国道の「北側」と「南側」の部会に分けて検討する



- それぞれの部会でより詳細な協議が可能
- それぞれの検討のスピードに合わせた効率的な協議が可能

次回の検討

次回は、北側部会と南側部会に分けて下記の検討を行い、開催時期は9月から10月頃を予定しております。

北側部会



統合後に活用する校舎について、引き続き検討

南側部会



教育委員会に提出する意見書や統合スケジュール等を検討

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せください ■

上野幌・青葉地域 小規模校検討委員会 事務局

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル

TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837

E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ 検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>